

# 自由民主党 信頼の小金井

SHINRAI NO KOGANEI

発行：小金井市議会 自由民主党・信頼の小金井  
小金井市本町6-6-3

・遠藤ゆりこ ・河野麻美  
・五十嵐京子 ・吹春やすたか

会派ニュース  
No.28  
令和6年3月発行



## 市立保育園2園廃園に反対し、

## 市を訴えた裁判で判決！



さくら保育園



くりのみ保育園

▶ 令和4年9月、西岡前市長は市立保育園5園のうち2園を廃園に向け段階的に縮小する議案を議会に提出したものの、担当委員会で継続審査にしたことから、専決処分という強い市長の権限を使って、2園の廃園を決め、翌年度の0歳児募集を中止したところ、一保護者が市を訴え裁判が行われていました。令和6年2月22日にその判決が出て、2園の廃園を元に戻す訴えは却下されましたが、専決処分は違法、訴えた保護者の児童は入所を認めるべきとの判決となりました。これを受け、白井市長は市長報告で、この判決を受け入れると議会に報告しました。

▶ 市議会は、令和4年9月の西岡前市長の専決処分には不承認の結論を出しており、判決に一定の理解はしているものの、その後白井市長が専決処分を元に戻すという提案には反対多数で否決をしており、2園廃園の方向性と段階的に縮小するという方針は議会多数が認めております。

▶ 今回の判決は、訴えた保護者の児童一人のみの入所を認めるというもので、大変分かりにくい判決となっていますが、実態としては、数年かけて民間保育園が多数開設しており、待機児童対策はほぼ解消し、保育園入園希望者の選択肢は増えていました。更に、保育士不足は公立保育園でも大きな課題として次第に厳しくなっており、多くの子どもたちを預かることは不可能という現状があることも考えなくてはなりません。

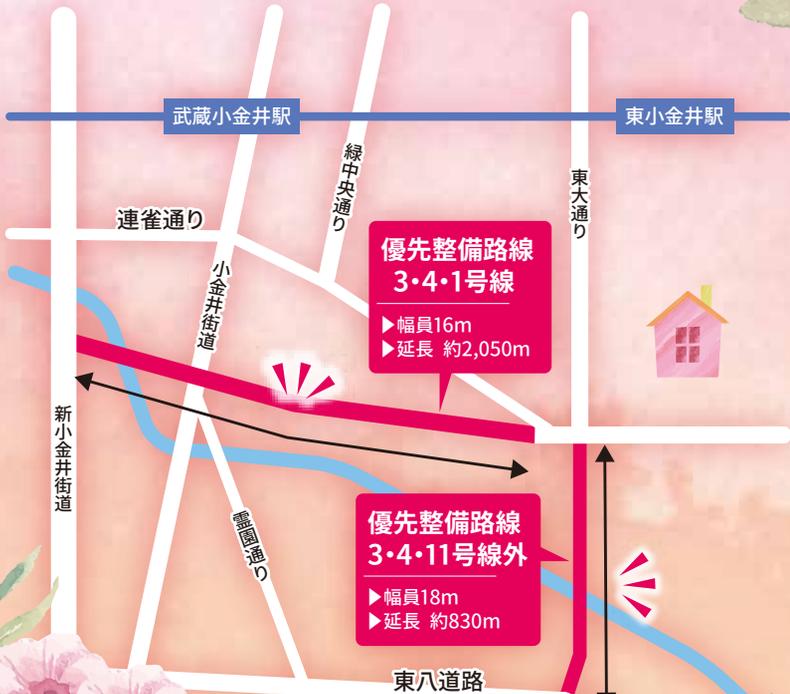
## 廃園の取り消しは却下、専決処分は違法?!

## 能登半島地震を踏まえ、防災対策は急務!!

## 都市計画道路検証費用が計上!

(3・4・1号線)(3・4・11号線外)

## 施政方針に盛り込まれた「独自の検証」とは?!



▶ 2月20日に白井市長から示された令和6年度の施政方針では、4つの重要課題の1つに「優先整備路線」が掲げられました。その中では昨年と同様に「優先整備路線2路線の事業化中止を求める要望書を(東京都へ)提出する」旨を表明した一方で、「都市計画道路の必要性を独自に検証する」とも表明し、検証費用として1286万9千円が当初予算に計上されました。

▶ この方針に対する河野市議の「検証の結果、市長が優先整備路線の必要性を認める可能性があるのか」との問いに「おっしゃる通り」と市長は答弁しました。これは、これまでの市長答弁(※)とは異なる重要な発言であり、都市計画道路の整備推進に向けて、市長の決断が期待されます。

### ※これまでの市長答弁

「必要性は認識しておりません。必要性を認識するという事は、その道路を造るべきということになりますよね。」

- ▶ 能登半島地震を踏まえ、いつ起こるかわからない大規模災害から市民の生命と財産を守るため、市外に繋がる道路の整備、無電柱化の推進などは、市が取り組むべき喫緊の課題です。
- ▶ 検証の結果、都市計画道路の必要性が認められた場合には、市長は公約やこれまでのスタンスに固執することなく適切な判断をすべきであると考えます。

### 独自検証の概要

2路線固有の課題(はげ、野川、防災、通過交通、連雀通りの狭隘部分等)を検討し、必要性を総合的に判断

きょうあい

令和6年度

# 「小金井なかよし市民まつり」 開催見送りに！

▶ 毎年10月中旬に都立小金井公園で開催していた「小金井なかよし市民まつり」は、**令和6年度の開催は見送られること**になりました。事務局を担ってきた商工会は、インボイス制度対策やコロナ禍も経て本来の商工会業務が増加しただけではなく、職員の不足も重なり、これ以上運営していくことは難しいと事務局を辞退する旨を市に伝えました。

▶ 市は新年度の中止を決定し、令和7年度の開催に向け、10月を目途に市民まつりの意義や今後の開催場所等も含め検討するとしていますが、3月中旬現在も**これまで市民まつりに出店した団体等へ開催中止の説明は行っておらず、市の対応の遅れは否めません。**



昨年の「小金井なかよし市民まつり」ポスター



## 第一小学校、建て替えへ

市議会議員

**五十嵐 京子**

Kyoko Igarashi



小金井市では公共施設の老朽化対策として、長寿寿命計画を進めています。更に、小学校は低学年から35人学級が始まり、教室不足も課題になっており、第一小学校は教室が足りなくなる令和9年度に間に合うように、令和6年度に設計を、令和7年度に入って工事に着工する計画です。これまでグラウンドだった敷地の南側に新校舎を建て、旧校舎は取り壊し後、新たにグラウンドにする計画で工事が進められ、教室はICT端末を利用するために机を広くし、また多様な学習形態に対応できる工夫も考えられており、更に環境にも配慮した新校舎が誕生する予定です。

## 郵便局との 包括連携協定締結を！

市議会議員

**河野 麻美**

Asami Kawano



小金井市は、これまで教育機関や事業者等9者と包括連携協定を締結していますが、昨年の新規締結はありません。他市などでは、市内図書館で借りた本を郵便局に設置した回収ボックスに返却ができるようにしたり、郵便局集配車両約730台に消防団員勧誘のステッカーを掲示しPRしています。これはあくまでも一例で、さまざまな連携手法が想定されますが、包括連携協定は長くつながるという視点で、何かの際には相談し、連携しやすい関係づくりが出来ることも重要です。市民福祉の向上のため、積極的に対応していただきたいと要望しました。



市議会議員

**遠藤 ゆりこ**

Yuriko Endo

生涯にわたる健康の保持増進に大きく寄与する、歯科医療と口腔ケアの周知徹底が大事です。健康長寿には口腔ケアが最も大事で、歯科の主治医がいる人といない人を比べると、いる人のほうが長生きであり、歯周病が糖尿病、心疾患、脳梗塞など全身の健康と深い関わりがあります。口腔ケアで全身疾患や認知症を防ぎ、医療費の削減に貢献することが明らかになった今、第3期小金井市保健福祉総合計画の中に明記する事を市に求めました。

## 歯科医療・口腔ケアが 市民の健康を守ります



市議会議員

**吹春 やすたか**

Yasutaka Fukiharu

多くの大地震災害を我が国は経験してきましたが、もし被災地となった場合、とても大事なモノの準備が「能登半島地震」で明らかになりました。「トイレパニック」と言う言葉をご存知でしょうか。発災後、水洗トイレは使えなくなり便器が排泄物で溢れてしまったことから生まれた言葉です。食べ物、飲み物等も勿論大事ですが、被災後の体調の為には「使えるトイレ機能」の維持も大切です。私は、避難所での携帯トイレ、簡易トイレや仮設トイレ等の重要性と共に、特にマンホールトイレを自分達で設置出来る事の必要性を訴えていきます！

## 避難所トイレ、大丈夫か！